



THE Y'S MEN'S CLUB OF AIZU  
会津ワイズメンズクラブ  
CHARTERED ON FEB. 1993



### 2018～2019 年度主題

国際会長	Moon Sang Bong(韓国)	「私たちは変えられる」
アジア地域会長	田中博之 (東日本区)	「アクション」
東日本区理事	宮内友弥 (東京武蔵野多摩)	「為せば成る」
北東部部長	涌澤 博 (仙台青葉城)	「チャンス到来 我ら北東部から世界へ」
会津クラブ会長	青山孝男	「力の限り この地の塩として！」

<No.284 会津通信>  
2019年4月9日発行

会長	青山孝男
副会長	高橋眞美
書記	高橋真人
会計	高橋真人

### ◇4月の聖句◇

言うておくが、あなたがたの義が律法学者やファリサイ派の人々の義にまさっていなければ、あなたがたは決して天の国に入ることができない。

マタイ福音書5章 20 節

### 4 月例会

日時:2019年4月9日(火)19:00～

場所:若松栄町教会

司会:高橋 真人メン

- |                                       |                 |
|---------------------------------------|-----------------|
| 1.開会点鐘                                | 会長              |
| 2.ワイズソング                              | 一同              |
| 3.会長あいさつ                              | 会長              |
| 4.連絡・報告                               |                 |
| 5.聖句朗読                                |                 |
| 6.食前感謝                                |                 |
| 7.歓談                                  | 強調月間<br>LT 切手整理 |
| 8. Happy Birthday! Happy Anniversary! |                 |
| 9.閉会点鐘                                | 会長              |

### <3月例会出席状況>

在籍者 5名 ゲスト0名

出席者 5名

\*例会出席率 100%

あかべこ	5,000円
18-19年度合計	13,000円

### 《例会》

毎月第2火曜日 19:00～21:00  
若松栄町教会 (☎0242-27-3944)

### 防災元年

青山孝男会長

2019年度町内会総会が終了しました。活動のスローガンとして「防災元年」共に支え合う防災活動をアピールしました。これは昨年4月市行政提案型協働モデル事業に応募し、選考審査会を経て契約締結できました。自主防災組織の立上げが最終目標で、年度内へ繋げることができませんでしたが、住民の防災意識を高め、防災組織の体制づくりを2019年町内事業の重点事業すべきと防災スタッフ一同で構築を図りました。「自分が支援する地区防災」は「自分を支援してくれる地区防災」となることを行政の支援と連携から継続・発展のための取り組みがスタートした次第です。委託料により防災講座の開催、先進地の視察、防災マップの改版、防災用品の購入及び整備にと有効に活用しました。先進地の視察で仙台ワイズメンズクラブの横倉ワイズの富谷市町上町内会の避難訓練を視察できました。当町内会とほぼ同じ世帯数で、活動の拠点となる町内会館や防災倉庫が整備されて、訓練活動費もしっかりと計上されていることと組織が羨ましくおもうほどしっかりと組織化されていました。2011年の東日本大震災後横倉ワイズと自主防災組織に関して何度か話したことがありますが、こんな形で視察できたことに感謝しています。当市には自主防災会が2町内会で立ち上がっています。2018年を振り返ると自然災害が多い年でした。「自分たちのまちは自分たちで守る」が令和元年です。

(次回は高橋眞美さん)

☆ 強い義務感を持つ 義務はすべての権利に伴う ☆

## 4月号報告(東日本区報より抜粋)

理事メッセージ

宮内友弥 (東京武蔵野多摩)



各地からの桜情報が届き開花前線も南から北上中の清々しい季節となりました。

4月はお役所、国内の多くの学校、企業で新年度がスタートする時期です。ワイズは年度終盤の

3ヶ月を残すのみとなりました。私自身これまでの9ヶ月を今一度振り返り、残された3ヶ月間でなすべき事、次期に継続して託すものを整理した上で、臨む所存です。

間もなく次期役員会メンバーも参加される第3回東日本区役員会が開催されます。今期から次期へ繋ぐ重要な機会でもありますので、メンバーの皆様には万難を廃して出席をお願いします。理事として掲げた目標の達成を目指して全力投球します。各会員の皆様それぞれのお立場で目標の達成にいつそのご尽力に期待いたします。

### 強調月間

#### ★LT

LT 委員会 委員長 北村 文雄(厚木)

4月にはLT(Leadership Training)の強調月間です。

それに先立ち、東日本区では、次期会長・部役員研修会を、3月9～10日オリンピック記念青少年総合研修センターで開催いたしました。次年度のワイズ活動をリーダーとして担ってくださる100余名の皆さんの熱い語らいの場が持たれました。ワイズの高齢化、そしてそれに伴う会員減少という状況のなかで、EMCを区をあげて全力で取り組むべく、EMC中長期委員会が発足いたしました。

ビジョンを掲げ活動の実践を行ううえで、まず、重要なことは、メンバー個々の意識です。自分が主役と言う意識でクラブに参加しましょう。魅力ある楽しい例会、充実した奉仕活動、それを作る担い手はあなたです。誘われるのではなく誘い手になりましょう。皆さんが誇りと情熱をもって活動するその先にワイズの未来が開かれます。

A Time for Action! 今こそ行動のときです。

## 会津だより

### 数少ない敗戦体験者の話

高橋 カメン

「満州に開拓団が送り込まれた背景には、人口過剰で貧困状態だった日本国内の農村の「人減らし」と、ソ連国境の国防を担う「人の盾」という2点がある。

開拓団は国策で、地方自治体や教育者はそれに加担して「満州に行けば大地主になれる」などと主として農



家の次男や三男を誘った。開拓とは名ばかりで、多くは現地に家も農地も準備されていた。半強制的に安く買い取るなど、実質的には中国人から奪っていたのだ。国策だったのだから各市町村に移住希望者の割当があった。会津若松市でも移住者募集があった。当時不況だった漆器業、農民が対象になった。借金を市が負担するから、等と好条件が提示された。その結果の数の記録はない。会津若松市の歴史資料もない。会津図書館にも見当たらない。国策だったので国の計画によって不都合な資料は処分されたのでは---これは憶測。このような国策によって約32万人が満州、モンゴルに渡った。第二次世界大戦(太平洋戦争)の日本の敗戦によって多くの邦人が取り残された。引揚げが遅れたのは下記の様な日本国の「棄民政策」があったからだ。関東軍が居留民を置き去りにしたことは、大本営の高級参謀、朝枝繁春陸軍中佐の『関東軍方面停戦状況に関する実視報告』を読めば、大本営の方針であったことがわかる。「既定方針通り、大陸方面においては、在留邦人及び武装解除後の軍人はソ連の庇護下に満鮮に土着せしめて生活を営む如くソ連側に依頼するを可とす」、「満鮮に土着する者は日本国籍を離るるも支障なきものとす」(『シベリアの挽歌』p.363-380)とある。

はじめから日本軍は、大陸の邦人を「棄民」にすることを決めていたようなのだ。ちなみにこの文書を作成した朝枝繁春陸軍中佐は、1954年に米国に亡命したKGB中佐・ラストボロフ証言によると、ソ連で特殊工作員として訓練を受けた11名の日本人のうち一人である。

そして、さらに腹が立つことなのだが、8月11日未明から正午までに満州国の首都・新京にいた軍人関係家族や満鉄関係家族、大使館家族は3万8000人は18本の列車に優先的に乗って脱出し、しかも軍人家族脱出の指揮を執ったのは関東軍の総参謀長秦彦三郎の夫人だったというからひどい話である。

20年ぶり紙幣刷新の発表がされた。五千円札津田梅子は日本初の女子留学生として渡米したが、中には大山捨松がいた。捨松は、元会津藩家老で東京帝国大総長などを務めた山川健次郎の妹・・当ブリテン2017年7月、8月号で紹介してあります。会津人にゆかりの人物が肖像画に選ばれるのは喜ばしい限りだ。

#### ☆ 今後の予定 ☆

- ◇ 5月例会 5月14日  
会場 若松栄町教会
- ◇ ユニークダンス 5月22日  
会場 アガッセ